

授業科目	*助産診断・ケア学Ⅳ(新生児・乳幼児)				実務家教員担当科目	○					
単位	1.	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期				
担当教員	古賀 玉緒										
授業概要	<p>教員は総合病院・クリニック・助産院などの施設における助産師経験および臨地実習の指導経験をいかして講義を行う。</p> <p>正常および正常逸脱にある新生児・乳幼児の生理機能や成長発達の特徴、および家族の心理・社会的側面から母子一体の視点をふまえた愛着形成や家族構築にむけた助産ケアを学修する。さらに自己練習やグループワークに主体的に取り組み、新生児の正常な胎外生活適応に向けた日常生活ケアや診察技術を習得する。</p>										
授業形態	講義・演習		授業方法	ディスカッション、グループワーク							
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新生児・乳幼児の形態・機能的特性および適応過程や発達について説明できる。 2. NICUにて管理が必要な児やその家族のケアについて根拠に基づき説明できる。 3. 新生児・乳幼児の成長・発達に必要なケアについて根拠に基づき説明できる。 4. 新生児・乳幼児のケアに関する課題について主体的に取り組むことができる。 5. 新生児・乳幼児のケアを倫理的態度をふまえ安全安楽に実施できる。 6. 新生児・乳幼児の健康状態を把握するための診察技術を正しく習得できる。 										
理想的レベル	標準的レベルに達したうえで、新生児や乳幼児に関する課題や対象のケアのために必要な自己の知識や技術の向上を目指して主体的に自律して学習に取り組むことができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合(数値)			備考							
試験	60%										
小テスト											
レポート	15%										
発表(口頭、プレゼンテーション)	20%										
レポート外の提出物											
その他	05%										
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	MI21204J
学習課題(予習・復習)										1回の学習目安(時間)	
教科書や参考文献のテーマに該当する箇所を読み、重要箇所には下線や付箋を示し講義に臨む。										1	
授業計画											
第1回	<p>新生児のケア(1)(古賀玉緒)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生児期および乳幼児期における助産師の責任およびケアの基本について解説する。 ・新生児の胎外生活への適応の診断とケアおよび常逸脱予防についてのケアについて解説する。 										

第2回	<p>新生児のケア(2)(古賀玉緒)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生児の成長および発達について解説する。
第3回	<p>新生児のケア(3)(古賀玉緒)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生児の養育環境について解説する。 -施設における環境、自宅における環境について- ・退院後1か月までの新生児のアセスメントおよびケアについて解説を行う。
第4回	<p>新生児のケア(4)(古賀玉緒 山田恵 新郷朋香)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生児期の助産技術を学ぶ。(1) <p>計測機器や視聴覚教材を活用しながら診断技術や生活援助技術を学ぶ 各診断技術の方法を確認しながらグループメンバーと 協力し演習を主体的に取り組む。</p> <p>-バイタルサイン、身体計測・沐浴、児頭計測など-</p>
第5回	<p>新生児のケア(5)(古賀玉緒 山田恵 新郷朋香)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生児期の助産技術を学ぶ。(2) <p>計測機器や視聴覚教材を活用しながら診断技術や生活援助技術を学ぶ 各診断技術の方法を確認しながらグループメンバーと 協力し演習を主体的に取り組む。</p> <p>-バイタルサイン、身体計測・沐浴、児頭計測など-</p>
第6回	<p>新生児のケア(6)(古賀玉緒 新郷朋香)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生児期の助産技術を学ぶ。(2) <p>各自の課題を中心に演習に取り組む。</p>
第7回	<p>新生児のケア(7)(古賀玉緒 山田恵 新郷朋香)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生児期の助産技術を学ぶ。(3) <p>新生児の診断技術や生活援助に関する技術試験を実施する。(技術チェック)</p>
第8回	<p>乳幼児のケア(1)(外部講師)</p> <p>退院後の新生児・乳幼児の特徴(身体的・心理的成長発達、栄養)について解説する。 退院後の乳幼児の主な疾患・治療について解説する。</p>
第9回	<p>乳幼児のケア(2)(外部講師)</p> <p>地域における継続的な支援について解説する。</p>
第10回	<p>乳幼児のケア(3)(内部講師 樋口由貴子)</p>

	乳幼児の発達の促進にむけたケアについて事例を活用してディスカッションをふまえて解説を行う。
第11回	乳幼児のケア(4)(内部講師 樋口由貴子) 乳幼児の発達の促進にむけたケアについて事例を活用してディスカッションをふまえて解説を行う。
第12回	低出生体重児・早産児のケア(1)(外部講師) 新生児の疾患と治療・NICUの概要、低出生体重児の特徴や新生児の主な疾患について解説する。
第13回	低出生体重児・早産児のケア(2)(外部講師) 新生児の疾患と治療・低出生体重児・早産児の特徴および疾患をもつ児の主な治療について解説する。
第14回	低出生体重児・早産児のケア(3)(外部講師) NICUにおける母子のケアについて解説する。
第15回	低出生体重児・早産児のケア(4)(外部講師) クベース管理の児のケアを実施する。(バイタルサイン測定、移動、注入、体位交換、ディベロップメンタルケアについて)
テキスト	助産学講座8 助産診断・技術学〔3〕新生児・乳幼児期,石井邦子他編,医学書院 根拠と事故から見た母性看護技術,第3版,石村由利子編,医学書院 病気がみえるVOL.10 第4版,上田森生他編,MEDIC MEDIA 今日の助産マタニティサイクルの助産診断,改訂第4版,北川真理子他編,南江堂 日本版救急蘇生ガイドライン2020に基づく新生児蘇生法テキスト改訂,第4版,細野茂春監,メジカルビュー社
参考図書・教材 ／データベース・ 雑誌等の 紹介	必要に応じて資料を配布します。
課題に対するフィードバックの方法	レポートや提出物についてはコメントを添えて返却します。

学生への
メッセー
ジ・コメ
ント

看護基礎教育で学んだ母性看護学および小児看護学に関する知識や技術（目的や正しい手技）を復習して講義に臨んで下さい。

助産学実習へむけて必要な知識・技術を学びます。講義・演習では、主体的に参加し、演習時は身だしなみを整え、円滑に展開できるよう準備・後片付けも自主的に行って下さい。

感染予防ガイドラインを遵守し感染予防に努めましょう。